

ポスター番号
P1308

タイトル：

ユニークな数種類のアミノ酸 複合体がアトピー性皮膚炎 患者を完治する

著者：

錦織 浩治（薬学博士）、島野 孝子、小山 秀男
免疫美容研究所
NPO 法人 日本免疫美容協会 (JIBA)

背景(目的)

- 日本に於いては、アトピー性皮膚炎(AD)患者の数が非常に増加しているが、有効な治療法は未だ確立されていない。
- 著者の一人、小山は、ADをはじめとする皮膚病における免疫系の異常に関する内因性レトロウイルス説に基づき、25年にわたりユニークな数種類のアミノ酸複合体であるパルシアスタシス(PS)を開発した。

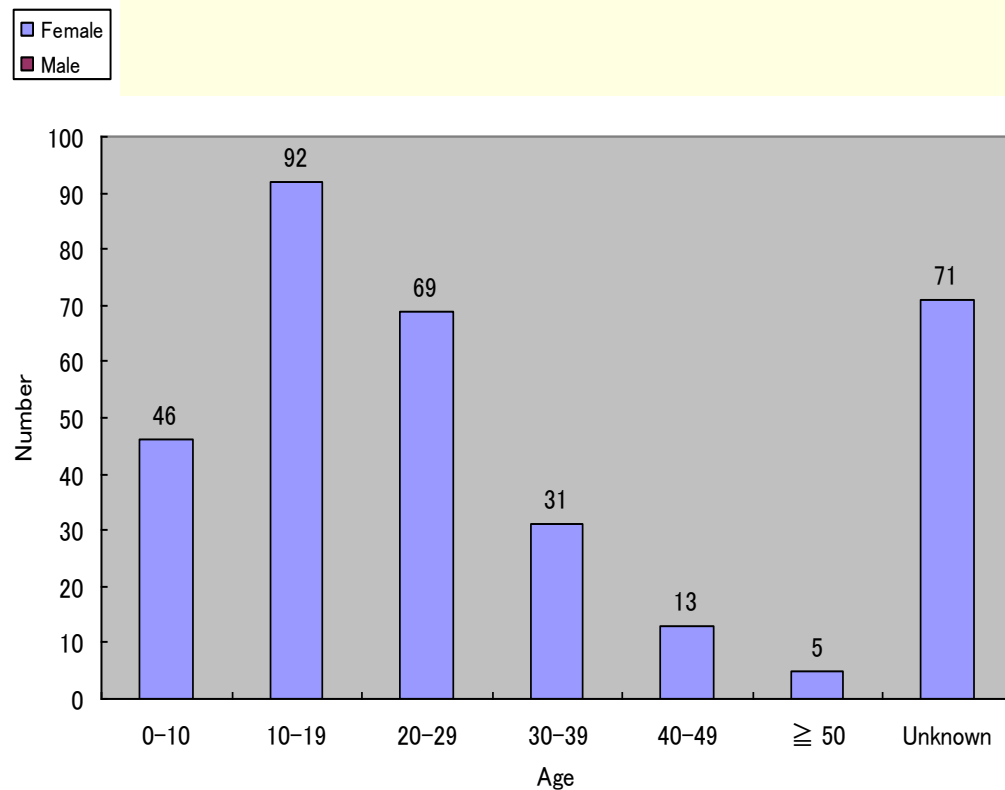
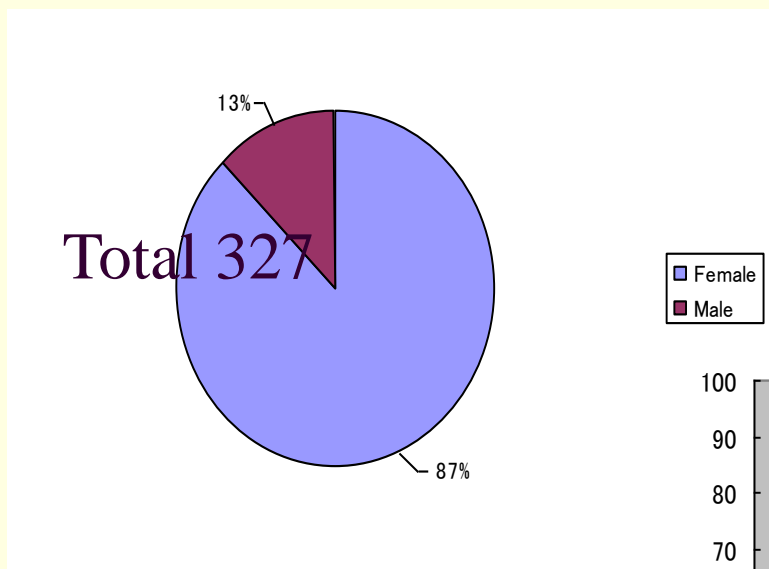
方法

- もう一人の著者である島野は、15年以上にわたりPSを用いて300人以上のAD患者を治療してきたADを完治する方法を確立した。
- 基本的な方法は、PSを1日多数回患者の皮膚に6ヶ月から1年間塗布することである。

結果 1

- PS は、AD患者に対して極めて良好な治療効果を示した。
- PS によるAD患者の治療効果については以下の10枚のスライドで示す。
- PS は治療を中断しない限り、AD患者を完治させることが出来た。
- PS は他の皮膚炎患者に対しても良好な治療効果を示した（データ未発表）。
- PS による治療に先立ってステロイド治療が行われた患者では、真の治療がステロイドの排出後に開始されることから完治が遅れる傾向が見られた。

PS 治療を実施した AD 患者の数



■ 女性 (28 歳)、6 ヶ月治療



Before



After

■ 女性 (42 歳)、1 年治療



Before



After

■ 女性 (42 歳)、8 ヶ月治療



■ 男児 (8 ヶ月)、11 ヶ月治療



Before



After

■ 女性脚 (26 歳)、5 ヶ月治療



Before



After

■ 女性 (31 歳)、4 ヶ月治療

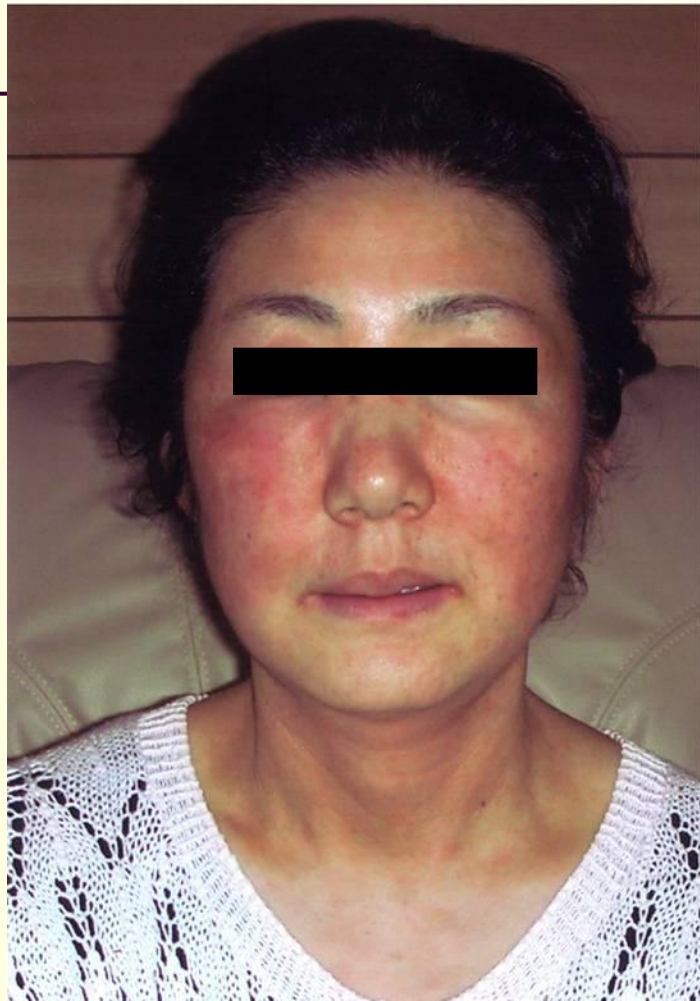


Before



After

■ 女性 (55 歳)、6 ヶ月治療



Before



After



Before

■ 女性 (26 歳)、6 ヶ月治療



After

■ 男性 (32 歳)、6 ヶ月治療



Before

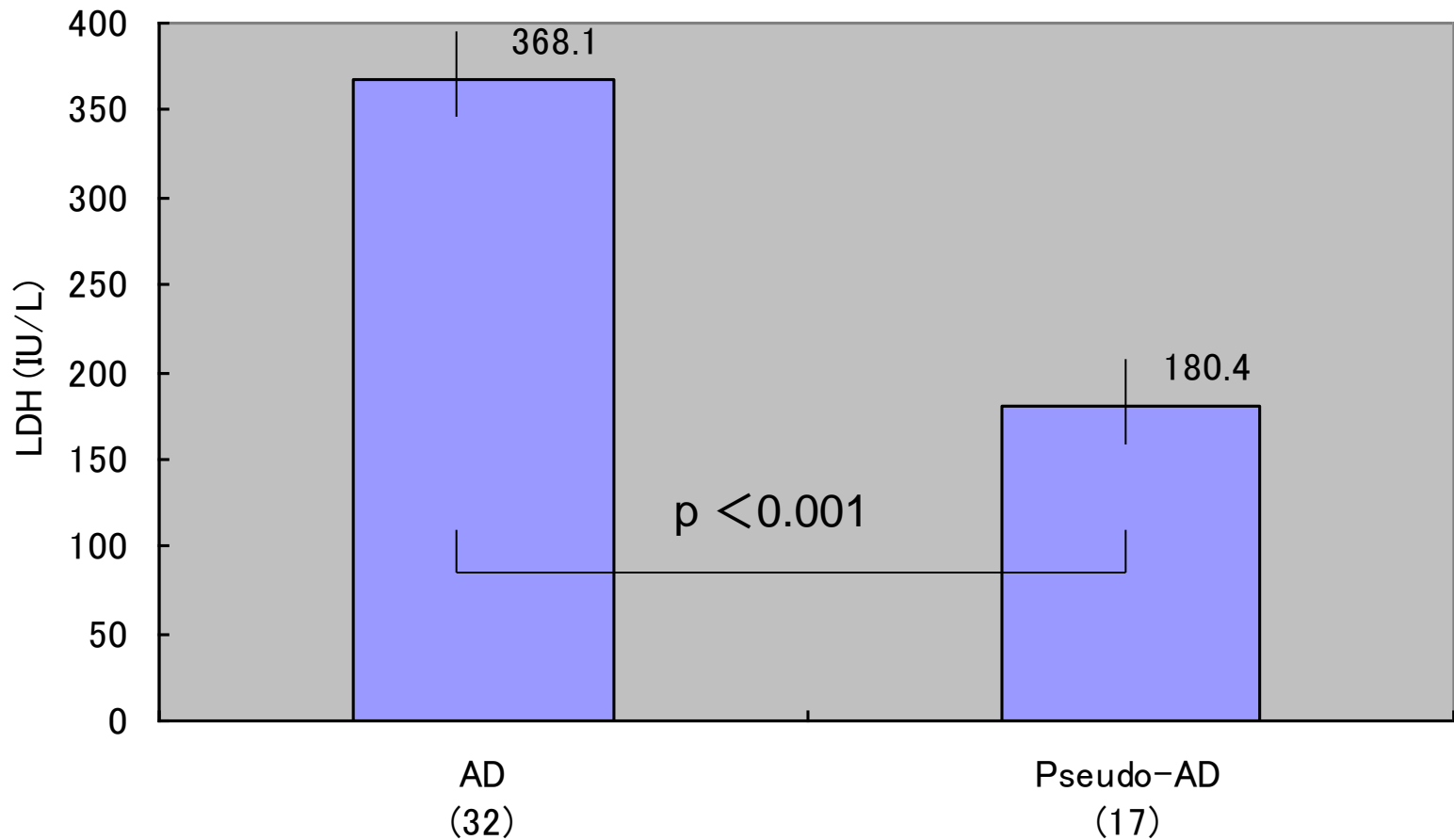


After

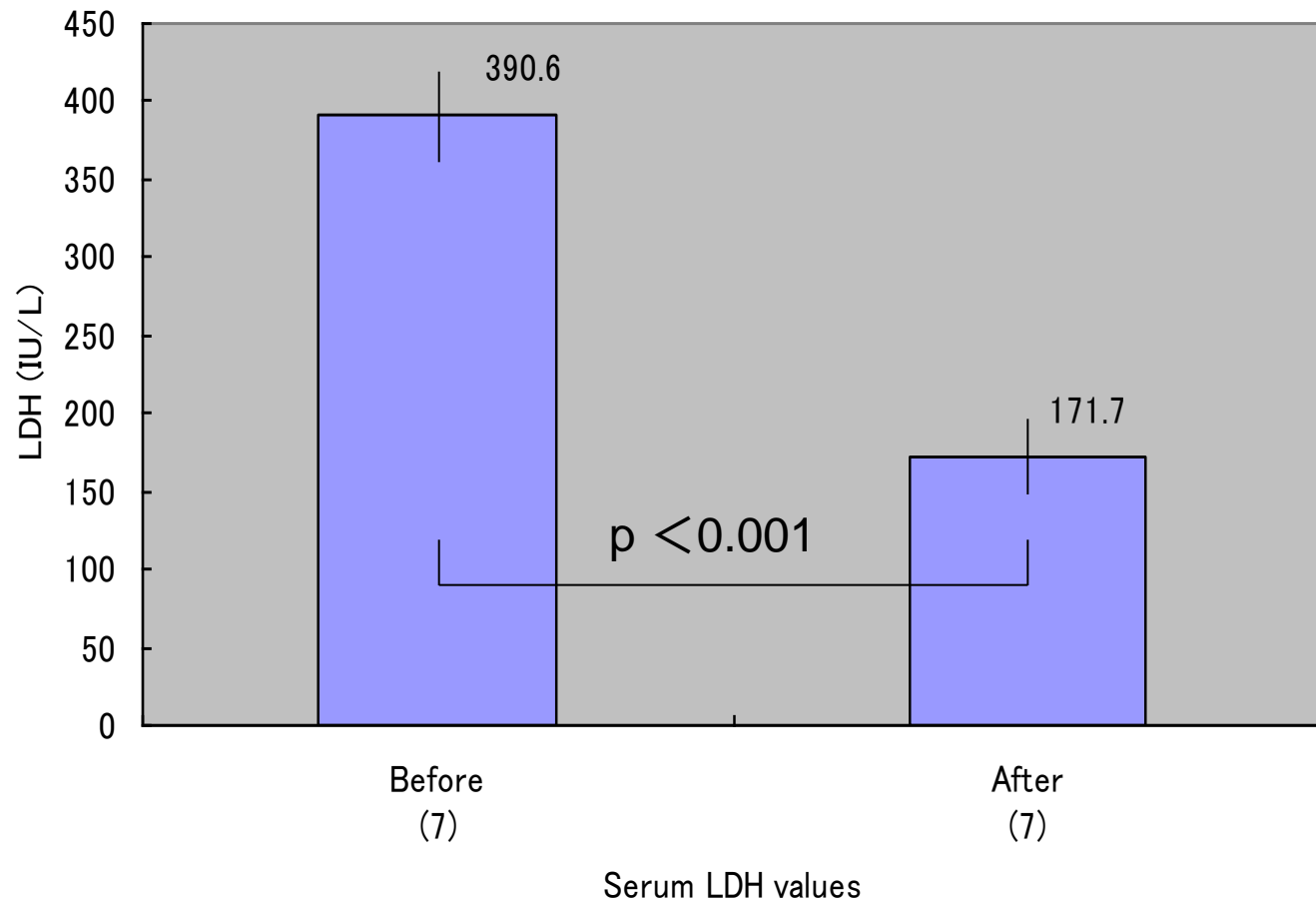
結果 2

- AD患者の約65%に血清LDH値の上昇が見られたが、残りには見られなかった。我々はこの血清LDH 値上昇群が真のAD患者であると考えている。
- 逆に、この群における血清リンパ球値は有意に低値を示した(データ未発表)。
- 更に非常に興味深いことに、AD患者における血清LDHの高値は、PSによるADの治療とともに正常レベルへと低下した。

AD患者における血清LDH値



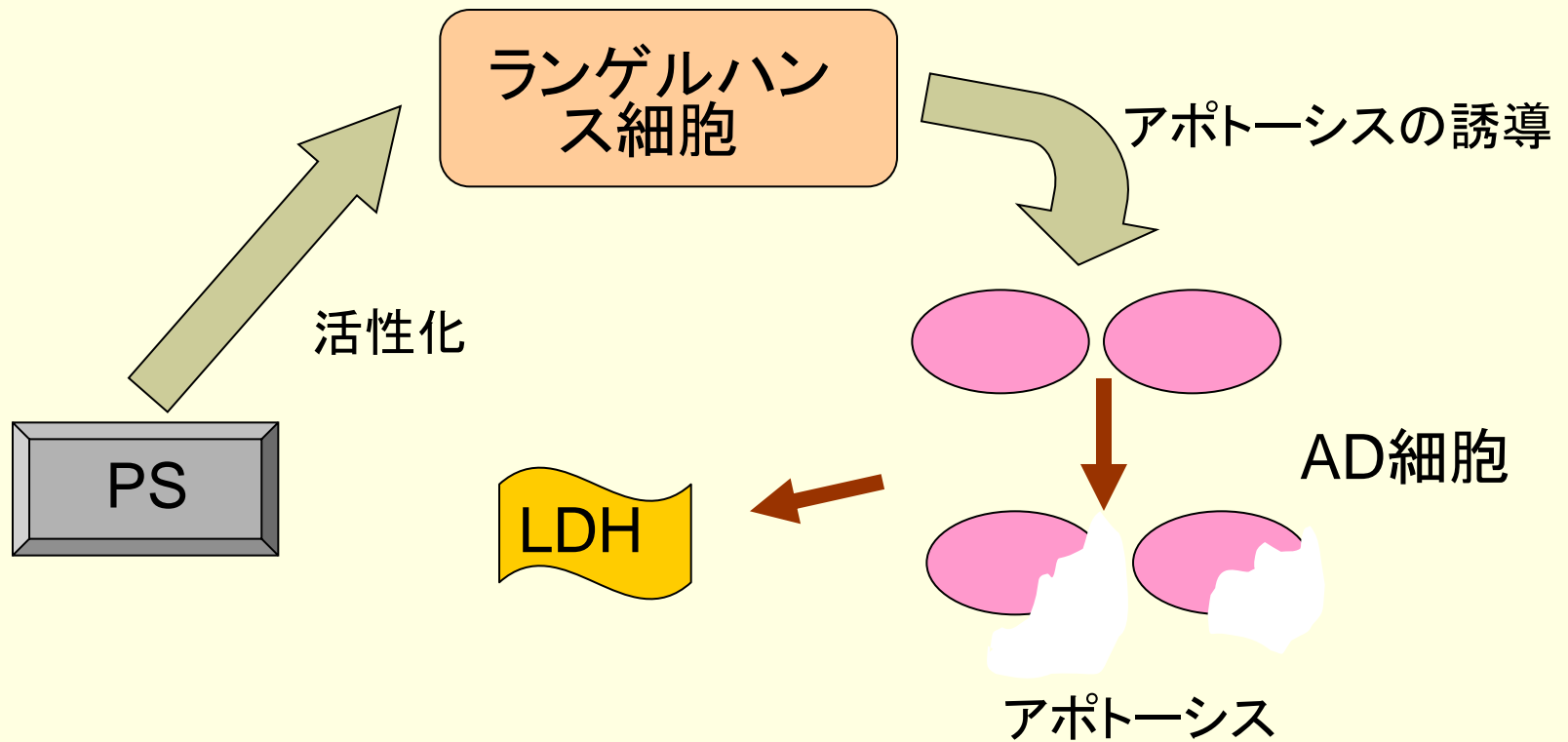
PS治療の前後における血清LDH値の変動



考察

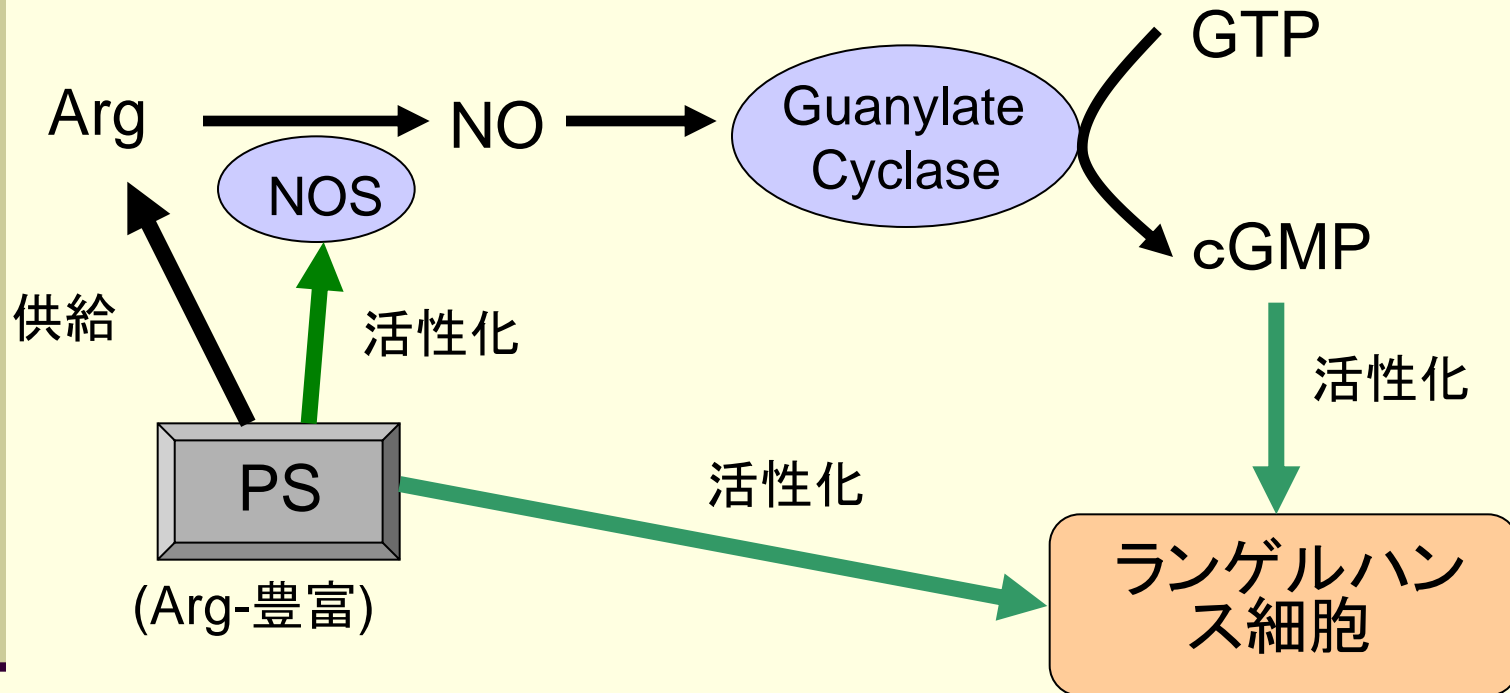
- PSはAD細胞のアポトーシスを惹起する可能性がある。
- 我々は、PSが一酸化窒素（NO）の原料となるアルギニン（Arg）を提供することやNO合成酵素（NOS）を活性化することでランゲルハンス細胞を活性化し、活性化されたランゲルハンス細胞がAD細胞のアポトーシスを惹起しAD患者の治療に向かわせると考えている。
- PSがAD患者の治療をおこなう機序については更に今後の研究により解明されなければならない。

PSによるAD細胞アポトーシスの 惹起



- PSで惹起されるアポトーシス
- 治療の初期段階における見かけ上の悪化

NO(一酸化窒素)の役割



要約

- (1) PS(ユニークな数種類のアミノ酸複合体)はAD患者や他の皮膚炎患者に対して極めて良好な治療効果を有した。
- (2) PSを一日多数回患者の皮膚に6ヶ月ないし1年間塗布することで完治させることが可能である。
- (3) PSに先だってステロイド治療を行った患者では完治が遅れる傾向がある。
- (4) AD患者の約65%に血清LDH値の上昇が見られたが、残りには見られなかった。逆に、この群では血清リンパ球値は有意に低値を示した。
- (5) AD患者における血清LDH値の上昇は、PSによるADの治療とともに正常レベルへと低下した。
- (6) PSはAD細胞のアポトーシスを惹起する可能性がある。
- (7) 我々は、PSが一酸化窒素(NO)の原料となるアルギニン(Arg)を提供することやNO合成酵素(NOS)を活性化することでランゲルハンス細胞を活性化し、活性化されたランゲルハンス細胞がAD細胞のアポトーシスを惹起しAD患者の治癒に向かわせると考えている。